

新型インフルエンザ(A/H1N1)の国内発生に係る対応について

○ 先般、国内において新型インフルエンザの発生が確認されたことを受け、新型インフルエンザ患者等からの採血の見合わせ及び献血後に新型インフルエンザを発症した場合の対応等※1を、並びに、献血受け入れ体制確保及び医療機関への適正使用の要請等※2について日本赤十字社血液事業本部及び都道府県あて通知したところ。

※1 「新型インフルエンザの国内発生に係る血液製剤の安全性確保について」(平成 21 年 5 月 18 日付け厚生労働省医薬食品局血液対策課長通知)

※2 「新型インフルエンザの国内発生に係る血液製剤の安定供給確保について」(平成 21 年 5 月 21 日付け厚生労働省医薬食品局血液対策課長通知)

日本赤十字社血液事業本部長 殿

厚生労働省 医薬食品局 血液対策課長 殿

新型インフルエンザの国内発生に係る血液製剤の安全性確保について

新型インフルエンザの国内発生例が報告されたことを受け、献血者からの採血の見合わせ及び献血後に新型インフルエンザを発症した場合には血液製剤の安全性確保の観点から、下記のとおり対応することとしました。

記

- 1 献血希望者の発熱等の症状の有無を確認すること、また、エボラウイルス、西ニール・エボラウイルス等の輸入感染症対策に関する「輸血の取扱いについて」(平成16年7月13日、薬食発第0713008号)に定められていることのある者の取扱いについても引き続き徹底されたこと。
- 2 献血希望者が新型インフルエンザに罹患した(発症した(インフルエンザを除く。))と7日以内に濃厚な接触があった(濃厚な接触とは、当該献血者に発熱等の症状がなくとも採血を行ったこと)。
- 3 献血を行った者が、献血後7日以内に発熱等の症状が認められ、新型インフルエンザに罹患の疑いのある場合、当該献血者から採血された場合には、直ちに献血をやめたことが明らかになった場合には、直ちに献血をやめたことが明らかになった事実を伝えるよう、採血当日に献血者に通知すること。
- 4 採血した血液が、献血を行った者又は医療従事者から採血されたものであり新型インフルエンザに罹患している等の献血者から採血された血液は、当該血液を血液製剤の原料としないこと。  
また、当該血液を原料とする血液製剤が既に市場に供給されている場合は、

合は、当該医療機関に対して遅滞なく当該献血後情報を提供するとともに、未使用の場合には当該製剤を回収すること。

都道府県血液センター  
〒100-0001 東京都千代田区千代田

都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬品血液部 部長 殿

新型インフルエンザの国内発生に係る血液製剤の供給確保について

新型インフルエンザの国内発生例が報告されたことを受け、別添付のとおり、本赤十字社血液事業本部長あて通知しました。付添はかへりまして、ご留意の旨を御了知いただきますようお願いいたします。

薬食血発第0521002号  
平成21年5月21日

薬食血発第0521001号  
平成21年5月21日

都道府県衛生主管部（局）長 殿

日本赤十字社血液事業本部長 殿

厚生労働省医薬食品局血液対策課長

厚生労働省医薬食品局血液対策課長

新型インフルエンザの国内発生に係る血液製剤の安定供給確保について

新型インフルエンザの国内発生に係る血液製剤の安定供給確保について

先般、国内において新型インフルエンザの発生が確認されたことを受け、「新型インフルエンザの国内発生に係る血液製剤の安全性確保について」（平成21年5月18日付け薬食血発第0518001号厚生労働省医薬食品局血液対策課長通知）により、新型インフルエンザ患者等からの採血の見合わせ及び献血後の新型インフルエンザ発症時の対応等を日本赤十字社血液事業本部長あてお願いしているところである。

先般、国内において新型インフルエンザの発生が確認されたことを受け、「新型インフルエンザの国内発生に係る血液製剤の安全性確保について」（平成21年5月18日付け薬食血発第0518001号厚生労働省医薬食品局血液対策課長通知）により、新型インフルエンザ患者等からの採血の見合わせ及び献血後の新型インフルエンザ発症時の対応等を日本赤十字社血液事業本部長あてお願いしているところである。

今般の兵庫県及び大阪府赤十字血液センターの献血確保量に関する調査結果を受け、日本赤十字社血液事業本部長あて通知（別添1）したところである。調査結果（別添2）によると、特に移動採血の実績に影響が見られることから、血液製剤の供給が滞ることのないよう、貴職におかれても、貴管下市町村及び日本赤十字社血液センターと連携を図りつつ、下記の方策について特段の御配慮をお願いする。

今般の兵庫県及び大阪府赤十字血液センターの献血確保量に関する調査結果を受け、日本赤十字社血液事業本部に設置されている新型インフルエンザ対策委員会において、献血者の確保が滞ることのないよう下記の方策を実施すること。本委員会の方策は、貴管下各血液センターと十分に連携を図り、その実施に遅滞なく努めること。その実施状況について随時報告されたい。

記

記

- (1) 献血者及び献血実施場所の確保を図り、献血受入体制に万全を期すること。
- (2) 医療機関に対して、血液製剤の適正使用を要請すること。

- (1) 都道府県、市町村等に対して、献血者及び献血実施場所の確保を図り、献血受入体制に万全を期すること。
- (2) 血液製剤の安定供給を維持するため、献血、採血、輸血、製剤の確保など血液製剤の供給に不足をきたすことのないよう、献血者の確保、採血の実績の確保など適切な対応に努めること。
- (3) 医療機関に対して、血液製剤の適正使用を要請すること。

兵庫県赤十字血液センター

施設名	種別	5月16日(土)				5月17日(日)				5月18日(月)				5月19日(火)				5月20日(水)				計			
		当初計画	実績	差異	%	当初計画	実績	差異	%	当初計画	実績	差異	%	当初計画	実績	差異	%	当初計画	実績	差異	%	当初計画	実績	差異	%
固定施設	200mL	9	10	2	125.0%	10	7	-7	30.0%	7	9	2	128.6%	7	7	0	100.0%	6	12	6	200.0%	38	41	3	107.9%
	400mL	128	87	-41	68.0%	157	67	-90	43.4%	111	38	-73	34.2%	111	63	-48	56.8%	105	127	22	122.0%	692	381	-311	55.2%
	PC	94	94	0	100.0%	95	71	-24	74.9%	81	59	-22	72.8%	31	57	26	184.2%	66	83	17	124.2%	417	373	-44	89.4%
	PPP	117	91	-26	77.8%	94	55	-39	58.6%	87	46	-41	52.9%	89	55	-34	61.8%	69	57	-12	82.6%	453	306	-147	67.6%
計	347	284	-63	81.8%	356	193	-163	54.2%	286	152	-134	53.1%	287	182	-105	63.4%	241	284	43	117.8%	1,516	1,101	-415	72.6%	
移動採血	200mL	29	18	-11	62.1%	3	3	0	100.0%	29	11	-18	37.9%	31	19	-12	61.3%	33	15	-18	45.5%	115	57	-58	49.6%
	400mL	205	219	14	106.8%	209	119	-90	56.9%	232	115	-117	49.6%	330	296	-34	89.7%	282	169	-113	59.9%	1,258	743	-515	59.1%
	計	234	237	3	101.7%	212	122	-90	57.6%	252	126	-126	50.0%	361	315	-46	87.3%	315	184	-131	58.4%	1,373	800	-573	58.3%

※本表は、兵庫県内で感染者が確認された日以降を示す

大阪府赤十字血液センター

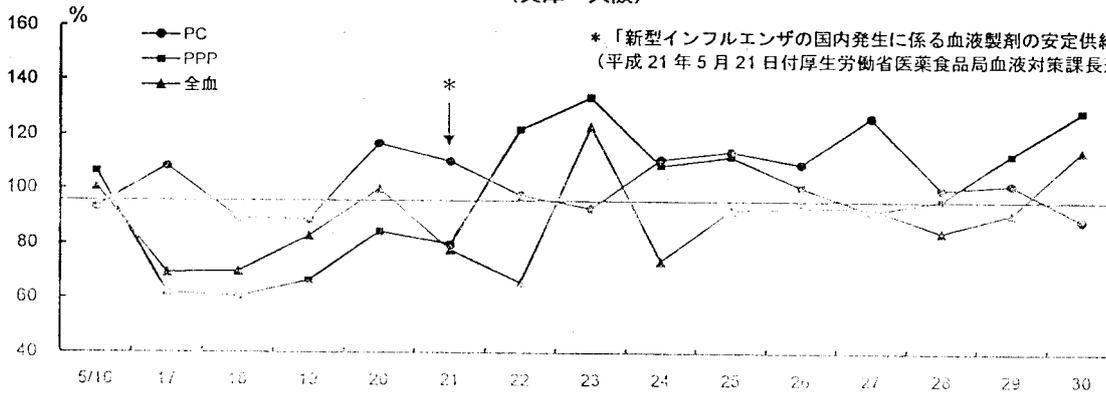
施設名	種別	5月16日(土)				5月17日(日)				5月18日(月)				5月19日(火)				5月20日(水)				計			
		当初計画	実績	差異	%	当初計画	実績	差異	%	当初計画	実績	差異	%	当初計画	実績	差異	%	当初計画	実績	差異	%	当初計画	実績	差異	%
固定施設	200mL	9	5	-4	55.6%	11	12	1	109.1%	6	8	2	133.3%	8	3	-5	37.5%	9	11	2	122.2%	43	39	-4	90.7%
	400mL	178	157	-21	88.2%	239	210	-29	87.9%	155	182	27	117.4%	192	175	-17	91.1%	184	219	35	119.0%	948	923	-25	97.4%
	PC	187	188	1	100.5%	139	178	39	128.1%	98	99	1	101.0%	143	142	-1	99.3%	143	156	13	109.1%	708	743	35	104.9%
	PPP	186	228	42	122.6%	209	135	-74	64.6%	128	84	-44	65.6%	162	111	-51	68.5%	144	123	-21	85.4%	829	682	-147	82.3%
	計	560	559	-1	99.8%	598	535	-63	89.5%	385	353	-32	91.7%	505	431	-74	85.3%	480	509	29	106.0%	2,528	2,387	-141	94.4%
移動採血	200mL	12	28	16	233.3%	29	55	26	189.7%	29	12	-17	41.4%	30	36	6	120.0%	36	41	5	113.9%	136	170	34	125.0%
	400mL	349	333	-16	95.4%	688	468	-220	68.0%	631	487	-144	77.2%	538	419	-119	77.9%	649	774	125	119.3%	2,855	2,481	-374	86.9%
	計	361	359	-2	99.4%	717	523	-194	72.9%	660	499	-161	75.6%	568	455	-113	80.1%	685	815	130	119.0%	2,991	2,651	-340	88.6%

※本表は、大阪府内で感染者が確認された日以降を示す

参考1

2009.07.10  
日本赤十字社血液事業本部

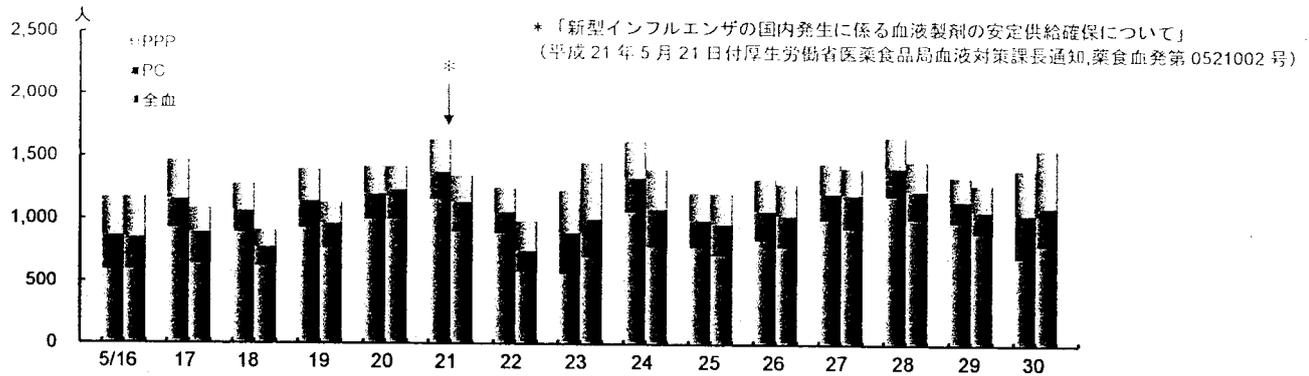
新型インフルエンザ国内発生当初の献血状況 (対当初計画比)  
(兵庫・大阪)



\*「新型インフルエンザの国内発生に係る血液製剤の安定供給確保について」  
(平成21年5月21日付厚生労働省医薬食品局血液対策課長通知, 薬食血発第0521002号)

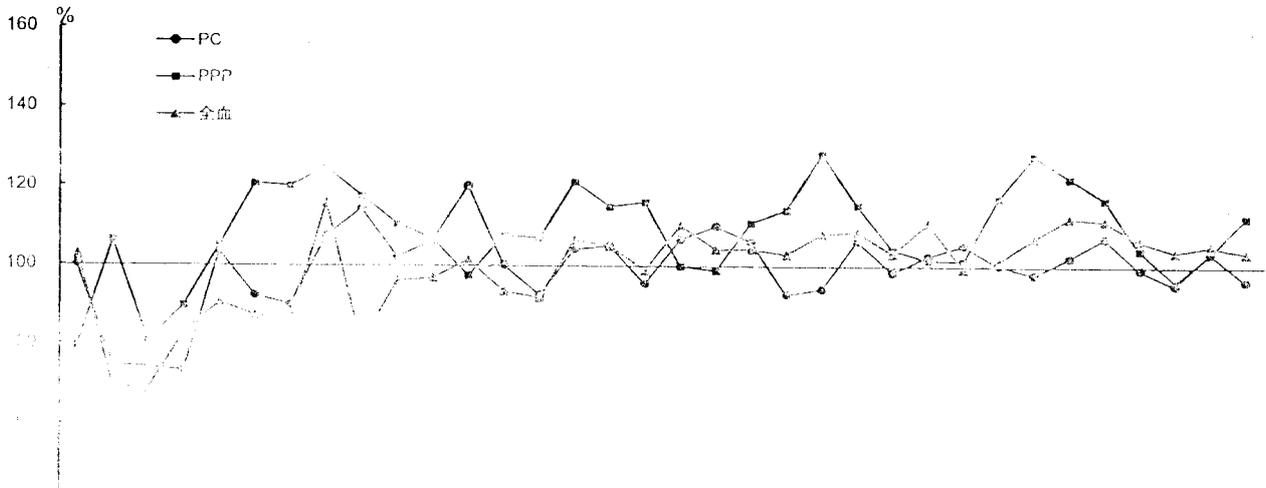
- 5月16日(土)の献血状況は、前日(5月15日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月17日(日)の献血状況は、前日(5月16日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月18日(月)の献血状況は、前日(5月17日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月19日(火)の献血状況は、前日(5月18日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月20日(水)の献血状況は、前日(5月19日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月21日(木)の献血状況は、前日(5月20日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月22日(金)の献血状況は、前日(5月21日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月23日(土)の献血状況は、前日(5月22日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月24日(日)の献血状況は、前日(5月23日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月25日(月)の献血状況は、前日(5月24日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月26日(火)の献血状況は、前日(5月25日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月27日(水)の献血状況は、前日(5月26日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月28日(木)の献血状況は、前日(5月27日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月29日(金)の献血状況は、前日(5月28日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 5月30日(土)の献血状況は、前日(5月29日)に比べて、PC(成分献血)が減少し、PPP(成分献血)が増加したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となった。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、PC(成分献血)の成分献血に減少がみられたが、5/21付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。

新型インフルエンザ国内発生当初の献血状況  
(兵庫・大阪)



- 献血ルームにおける新型インフルエンザ発生から 1 週間 (5/16-22) の献血状況  
PC (血小板) 成分献血は、有効期間の短い血小板製剤の安定供給を図るために優先的に確保したことから、ほぼ当初計画どおりの献血実績となっている。また、可能な限り全血献血確保にも努めたことから、一時的に PPP (血漿) 成分献血に減少がみられたが、5/21 付の国から発出された通知以降、関係自治体等も連携しながらその確保を行うことができた。
- 移動採血での新型インフルエンザ発生から 4 日間 (5/16-19) の献血状況  
全血献血は、大学等の休校や事業所等の協力延期等により、特に発生から 4 日間 (5/16-19) で当初計画の△710 人となったことから、全国的需給調整 (2,000U) により、適正在庫を維持することができた。
- 新型インフルエンザ発生当初以降、発生地域を有する血液センターにおける日々の献血状況は、毎日、厚生労働省へ報告している。

新型インフルエンザ国内発生以降の献血状況 (対当初計画比)  
(発生都道府県)



● 新型インフルエンザ発生以降、発生地域を有する血液センターにおける日々の献血状況は、毎日、厚生労働省へ報告している。